

世界の国の人々

自分の主張や意見をつくる時の評価基準

S

外国の人と上手に共生するための要因について整理することができていて、整理したことを関係付けて、外国の人とともに生きるためにどのようなことを大切にしていけばよいかについての考えを書けている。

A

外国の人と上手に共生するための要因について整理することができていて、外国の人とともに生きるためにどのようなことを大切にしていけばよいかについての考えを書けている。

B

外国の人と上手に共生するための要因について整理することができているが、外国の人とともに生きるためにどのようなことを大切にしていけばよいかについての考えを書けていない。

C

外国の人と上手に共生するための要因について整理することができていない。

具体的な記述の例

「情報の整理と気付き」

行政側が外国の人向けの言語表示や相談窓口を設けたり、住民がおたがいのことを理解し合うために外国の人と交流の機会をつくったりすることが外国の人との共生につながっている。

「自分の考え」

外国の人とともに生きていくためにおこなわれていることを整理したら、おたがいが顔を合わせて相手のことをよく知る必要があると思った。

外国の人との交流の機会をつくるなどの取り組みを通して、外国の人の文化や習慣を知り、相手の立場になって考えることで、必要な支えんが何かを考えられるようになると思う。

「情報の整理と気付き」

外国の人と交流の機会をつくることなどが共生につながっている。

「自分の考え」

外国の人とともに生きていくためには、相手のことをよく知る必要がある、そのためにも外国の人との交流の機会をつくるのが大切だと思う。

「情報の整理と気付き」

外国の人のための取り組みがたくさんある。

「自分の考え」

外国の人とともに生きていくのは難しいと思った。

※説明が不十分

「情報の整理と気付き」

わからない（書けていない）

「自分の考え」

わからない（書けていない）